

令和6年度第3回 うべ未来モニターアンケート集計結果

1 アンケートのテーマ

『「宇部市保健センター」今後の施設のあり方について』

『「福祉の拠点」として必要な機能等について』

- (1) 実施期間 8月13日（月）～8月25日（日）まで
(2) 担当部署 健康増進課、地域福祉課

2 モニター数・アンケート回答者数

- (1) メール・郵送文書到達モニター数 914 人
(2) 回答者数（回答率） 282 人（30.9 %）

3 回答者の属性

※ 端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

【年代】

項目	回答者数	比率	グラフ
10歳代	3 人	1.1 %	
20歳代	3 人	1.1 %	
30歳代	18 人	6.4 %	
40歳代	44 人	15.6 %	
50歳代	54 人	19.1 %	
60歳代	55 人	19.5 %	
70歳代	90 人	31.9 %	
80歳代	15 人	5.3 %	

282 人

ご協力、ありがとうございました。



【居住校区】

項目	回答者数	比率	グラフ
東岐波	11 人	3.9 %	
西岐波	17 人	6.0 %	
恩田	34 人	12.1 %	
岬	14 人	5.0 %	
見初	3 人	1.1 %	
上宇部	25 人	8.9 %	
神原	12 人	4.3 %	
琴芝	16 人	5.7 %	
新川	11 人	3.9 %	
鵜の島	8 人	2.8 %	
藤山	17 人	6.0 %	
原	7 人	2.5 %	
厚東	3 人	1.1 %	
二俣瀬	5 人	1.8 %	
小野	5 人	1.8 %	
小羽山	7 人	2.5 %	
常盤	13 人	4.6 %	
川上	10 人	3.5 %	
厚南	11 人	3.9 %	
西宇部	19 人	6.7 %	
黒石	7 人	2.5 %	
船木	11 人	3.9 %	
万倉	4 人	1.4 %	
吉部	3 人	1.1 %	
在学・在勤	9 人	3.2 %	

N=282

【性別】

項目	回答者数	比率	グラフ
女性	137 人	48.6 %	
男性	145 人	51.4 %	

N=282

4 回答集計

- ※ 比率は、各設問の回答対象数（N）に対する割合を示しています。
 ※ 単数回答であっても、端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

『「宇部市保健センター」今後の施設のあり方について』

担当部署 健康増進課

アンケートの趣旨

「宇部市保健センター」は、市民の健康づくりを推進する拠点として、健康相談、保健指導・栄養指導、健康診査など様々な活動を実施しています。また、災害時には浸水家屋等の消毒や検病調査等の防疫活動の拠点となり、コロナ禍においても、相談窓口を開設するほか、保健所や併設する休日・夜間救急診療所等と連携しながら、発熱患者への対応など様々な対策を行ってきました。

宇部市保健センターは、昭和55年に建築され、現在の築年数は44年となります。耐震性の基準は満たしているものの、天井の雨漏り、外壁のひび割れ、空調設備の不調など施設の老朽化が進んでいる状況です。

このたび、今後の施設のあり方について皆様の意見をお聞きし、建物の更新・長寿命化・移転など方向性を検討する際の参考にしたいと思いますので、アンケートにご協力をお願いします。

問1 宇部市保健センターを利用したことがありますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 利用したことがある	188 人	66.7 %	
2 利用したことはない → 問4へ	94 人	33.3 %	

N=282

問2 問1で「利用したことがある」と答えた方におたずねします。 どのような用途で利用されましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 電話や来所による健康相談・保健指導・育児相談	36 人	9.0 %	
2 自身の健診やがん検診	61 人	15.3 %	
3 健診後の保健指導	6 人	1.5 %	
4 親子健康手帳の交付、妊婦教室、幼児健診、離乳食教室など 子育てに関する手続きや教室 ※	62 人	15.6 %	
5 予防接種に関する手続きや相談	11 人	2.8 %	
6 健康づくりに関するイベントや行事への参加	73 人	18.3 %	
7 健康教室・運動教室への参加	23 人	5.8 %	
8 体組成計や血圧計による測定	64 人	16.1 %	
9 食生活改善推進員や健康サポーターとしての活動	16 人	4.0 %	
10 市や県が開催する会議等への参加	28 人	7.0 %	
11 その他（ ）	18 人	4.5 %	

11 その他（ ）

- ・地区保健師との打ち合わせ
- ・食生活改善推進員、母子保健推進員としての活動
- ・地区行事の協力、参加依頼
- ・健康サポーターの活動
- ・宇部志立市民大学 健康学部一期生として
- ・はつらつ健幸ポイントの測定・送信、ポイント申請等
- ・休日診療の受診

N=398

※現在、保健センターで親子健康手帳の交付、妊婦教室、幼児健診は実施していません。

問3 問1で「利用したことがある」と答えた方におたずねします。
どれくらいの頻度で利用されましたか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 週に1回以上	6 人	3.2 %	
2 月に1回以上	32 人	17.0 %	
3 半年に1回以上	25 人	13.3 %	
4 年に1回以上	38 人	20.2 %	
5 数年に1回程度	87 人	46.3 %	

N=188

問4 保健センターに必要と思う機能は何ですか。
あてはまるものをすべて選択してください。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 健康相談・保健指導を受けられる相談室	206 人	17.4 %	
2 集団健診を実施できるホール	144 人	12.2 %	
3 運動教室などを開催できるスペース	105 人	8.9 %	
4 講演会が開催できるホール	60 人	5.1 %	
5 離乳食などの料理教室ができる調理室	82 人	6.9 %	
6 健康食を提供するカフェなどの飲食店	60 人	5.1 %	
7 気軽に集えるオープンスペース	78 人	6.6 %	
8 体組成や血圧などの測定コーナー	129 人	10.9 %	
9 健康づくり人材が活動できる会議室や作業スペース	83 人	7.0 %	
10 健康づくり活動を実践する事業者や団体等が借りられる部屋	74 人	6.3 %	
11 災害時の防疫活動拠点として物品の備蓄などができる場所	149 人	12.6 %	
12 その他（ ）	11 人	0.9 %	
12 その他（ ）			

- ・新型コロナウイルスに見られるような集団感染への防疫対策及び市民への情報提供拠点
- ・新型コロナウイルスの検査
- ・地区の担当者のフォローと現状把握する機能
- ・もう少し、職員のレベルアップをして欲しい。問い合わせしても、レアなケースだったのか、方法をこちらからお伝えした。
- ・何が出来るのがよくわからないので、どのように利用できるかのアピール。
- ・新しい建物
- ・安全な食品の情報、危険な食品・添加物の情報を提供する。危険な薬の情報を提供する
- ・心の健康に向けた場所
- ・当方の利用方法では、あまり必要性を感じないので、他の場所で代用できるのでは

N=1,181

問5 今後の保健センターのあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 健康づくりや防疫活動の拠点として機能を拡充してほしい	197 人	69.9 %	
2 相談室、ホール、調理室など現存の機能を維持してほしい	45 人	16.0 %	
3 必要最小限の機能に縮小してほしい	40 人	14.2 %	

N=282

問6 今後の保健センターのあり方について、ご意見があれば記入してください。

別紙

担当部署による総括

このたびは、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

保健センターに必要な機能をお聞きした設問では、「健康相談・保健指導を受けられる相談室」が17.4%と最も多く、次いで「災害時の防疫活動拠点として物品の備蓄などができる場所」が12.6%、「集団健診を実施できるホール」が12.2%という結果でした。

また、今後のあり方については、「健康づくりや防疫活動の拠点として機能を拡充してほしい」が69.9%と最も多く、自由記入意見においても、「市民の健康を守る拠点」として機能の充実・発展を望まれる声や具体的な設備等のご提案を多く頂きました。

一方で、「機能が近い施設と統合して必要最小限のコンパクトな施設にするとよい」「ハコモノではなくソフト面を充実させてほしい」など、機能は充実しつつも建物は効率化すべきとの意見も頂いています。

このたびのアンケート結果は、今後、建物の更新・長寿命化・移転など方向性を検討する際の参考にさせていただき、市民の皆様のニーズを踏まえた保健センターの運営を進めていきます。

『「福祉の拠点」として必要な機能等について』

担当部署 地域福祉課

アンケートの趣旨

総合福祉会館は、長きにわたり福祉の拠点として、障害者団体やボランティア団体等の諸団体の活動拠点として会議・研修会等で活用されてきましたが、施設の老朽化等により、令和7年3月末を以って廃止となる予定です。

今後は、隣接する多世代ふれあいセンターへ総合福祉会館の機能を移転する予定としていますが、これから先も続く高齢化等を踏まえて目指す社会を見据え、福祉の拠点として必要と思う機能や施設についてお答えください。

(目指す社会)

- ・障害のあるなしに関わらず誰もが自分らしく暮らしていける社会
- ・誰もが生きがいを持っていつまでも元気で暮らしていける社会
- ・誰も取り残されず互いに支え合い助け合う社会

問7 福祉の拠点に求める機能は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 福祉全般に関する相談窓口	213 人	27.7 %	
2 介護などの福祉サービス施設	92 人	12.0 %	
3 就労に向けた訓練が受けられる場所	24 人	3.1 %	
4 福祉団体、ボランティア団体等の活動拠点	126 人	16.4 %	
5 福祉業務従事者や支援者が研修等を受けられる場所	77 人	10.0 %	
6 趣味や運動ができる場所	42 人	5.5 %	
7 多世代が交流できる場所	48 人	6.3 %	
8 コンビニ等小売店（日用品が購入できる施設）	7 人	0.9 %	
9 災害時の避難所、支援物資の備蓄機能	118 人	15.4 %	
10 高齢者や障害者等の安全に配慮した住宅	15 人	2.0 %	
11 その他（ ）	6 人	0.8 %	
11 その他（ ）			
・高齢者福祉は充実しているから、もう、これ以上拡充する必要はない。若い人向けの支援サービスが必要。 ・健常者も障害者も垣根なく活動できる場。お互いの相互理解が深まる場。 ・子供が室内で遊べる場所 ・福祉と言えば、高齢の介護に関するものが多い。これ以上、高齢者に関するものを増やす必要はない。若い人のための施設を作るのが良い。 ・誰もが気楽に行け、愚痴でも何でも話せる場。そこから地域課題発見。 ・福祉の拠点であり得るのか疑問。			

N=768

問8 福祉の拠点について、ご意見があれば記入してください。

別紙

担当部署による総括

総合福祉会館が閉館する一方で、市役所二期棟及び旧宇部井筒屋跡地の子育て支援拠点の建設と文化会館の改装工事が進行中で、約半世紀に渡り、市民サービスを支えてきた公共施設の過渡期を迎えています。

福祉の活動に関わる方からは、活動場所の減少を危惧する声をいただいています。新たな施設の陣容が整うまでの間、既存の施設を十分に活用していただけるよう情報提供してまいります。

福祉の相談窓口には、わかりやすさを望む声が多いことから、多世代ふれあいセンターの運営の変更点と合わせ、わかりやすい情報発信に努め、市民の皆様にとって身近な福祉を実現できるよう取り組みます。

福祉の拠点に臨むものは、世代や個々の状況に応じて様々でした。これからの施設運営の参考とさせていただきます。

問6 今後の保健センターのあり方について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
1.機能	女	60	保健センターと多世代センターの位置づけが、よくわかりません。福祉会館がたてかわるとの事ですが、どの様になるか、よくわかりません。
1.機能	女	70	福祉会館や多世代交流センターも近くに既にある。これらの施設と使用目的や機能が重複しないように配慮した方がよいと思う。コンパクトに機能的に。将来的に人口減少になることを見据えた方向性が求められる。
1.機能	男	70	いつでも気軽に何でも相談に応じてくれるセンターで充分です。
1.機能	男	70	遠隔地に居住する者には利用しづらいので、各市民センターでの巡回相談等の拡充を望みます。
1.機能	男	70	現在の機能を備えた施設を他の場所へ移設を検討
1.機能	女	70	気軽に訪問し、話を聞いてくれる、オープンな相談室みたいな明るいムードにしてほしい。
1.機能	女	60	健康作りの拠点として、何かあれば気軽に相談出来るような場所にして欲しいと思います。
1.機能	女	70	担当医からのアドバイスと雑誌、マスコミ、グーグルからの情報との違いを気軽に説明。誰でも気軽に福祉に参加出来る提供。
1.機能	女	70	必要かどうかを検討し、必要最小限で良いと思います。
1.機能	女	60	これからも市民が気軽に活用できる施設であって欲しいと思います。
1.機能	女	50	気軽に筋トレできるジムみたいな場所があると、『要支援』なる前に筋肉が増えて良いと思います。
1.機能	男	20	宇部市民にとってはとても重要な施設です。建物は新しく建て替えか、移転等して、継続して活動してもらいたい。
1.機能	男	70	宇部市に於ける保険機能の充実と災害時の健康に係るセンターとしての位置づけを図る。
1.機能	女	60	あれば便利なのかもしれないが、あれもこれもと機能性を詰め込むと結局必要な時に役に立たない、無駄になることもあると思います。調理実習ができる設備も今はオンライン（youtube）などたくさんの選択肢があるので費用対効果を考えて本当に必要なものだけに留めるべきではないでしょうか。 健康診断等の会場としての機能があれば良いと思います。
1.機能	女	70	福祉会館閉鎖に伴い、高齢者等がフリースペースとして誰でも使用できる場所を、要望します。
1.機能	女	60	誰もが簡単に身近に利用できるようにしてください
1.機能	女	40	昼間、夜間に運動サークルなどの活動をしてほしい（ジャザサイズ、ズンバ）
1.機能	男	60	健康センターは宇部市民の健康の維持・向上を達成する軸となる機能となるように、建物や人材の質と量を備えてほしい。 その場合、ご存じのように、健康とは「病気ではない」というだけのものではありません。 市政への健康面からの働きかけや、健康に関する新たな問題に適切に対応する（例えば、PFAS等の問題が表面化した場合すぐに調査するとか。宇部の水道水の調査等動きが遅かったですよね。）等、常にアンテナを張り巡らし、敏感に動くことができることを検討してほしい。
1.機能	男	70	市民の健康を守る拠点として充実・発展させて欲しい
1.機能	女	40	集団健診については駐車場が広い湖水ホール等が良いのでは？
1.機能	男	60	健康づくりのための気軽に利用できるジムみたいな設備があれば利用回数は増すと思う。
1.機能	女	40	これからも気軽に健康相談できる場所であってほしいです。
1.機能	女	50	誰もが気軽に訪問でき、相談できる場所であってほしい

問6 今後の保健センターのあり方について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
1.機能	男	70	現在、健康サポーターとして活動し、同施設は市民の健康づくりの拠点ととらえている。これからも同施設の機能が市民の健康を支え続ける役割が果たせるように機能の充実に努めていただきたい。
1.機能	女	40	特定検診やがん検診の集団検診を受けやすいようにしてほしい。特に、土曜や日曜に受診日を多く設けていただけるとありがたいです。
1.機能	男	70	市民の保険センターとして充実させて欲しい。
1.機能	女	50	保健センターは、健康づくりに関しては大切な拠点だと思います。少子高齢化でこれから需要も高くなると思うので、誰もが行き来しやすい施設になる事を希望します。
1.機能	女	70	普段から気楽に行ける場所として、食育（子供だけでなく高齢者にも）や健康相談が遠慮なくできる機能を備えて欲しい。災害時の防疫として重要な場所として周知する。
1.機能	女	50	問4の項目を満たす施設になればもっと活用価値が上がると思います。
1.機能	男	70	宇部市には、よく似た施設が多く有ります。まとめた方が良くと思います。
1.機能	女	50	健康相談・保健指導等にプラスして、小中高等が近く市の中心部にあることから子どもも（登校拒否・家庭の問題等で）行ける場所であるといいと思う。虐待＝児童相談所で、ハードルが高い時に育児や心理的相談もできるとありがたい。子どもから高齢者まで集える場にする場合は、離乳食から高齢者が好むもの（食べやすく調理したもの）の提供があるといいと思う。身体 の健康と同様に心の健康も大切と思う。例えば夏だと独居老人が、熱中症で自宅で亡くならない為にも保健センターにおしゃべりに行って涼めるような『場』になると理想。
1.機能	女	70	これから子供を育てて行く若い人に気軽に相談出来る施設で有れば良いですね。私は健康教室等有れば行きたいです。
1.機能	女	50	災害時の一時待機と備蓄の場所という位置付けで良いと思います。なので、建物は取り壊さずに維持してほしいです。 保健センターは無くても良いと思います。無くても困らないです。
1.機能	女	50	新型コロナなどの感染症対策や、 病気になる体づくりができるホール（体育施設）、 災害時に対応できる施設など充実してほしい
1.機能	女	30	数年前に乳幼児健診で利用してからは利用する機会がありません。 今は健診もしていないとのことで利用する機会がさらになくなったなと思います。
1.機能	男	70	災害時に機能が発揮出来るシステムがあれば良い。
1.機能	男	70	高齢者や乳幼児の健康指導などに重点を置いてほしい。学校や事業所には相談できるところがあるからよいが、高齢者や乳幼児はかかりつけの医者以外に気軽に相談に行ける場所であってほしい。
1.機能	男	70	保健センターと保健所の区分けが市民としてよく分からないので、役割と目的を整理して周知してほしい。センターの管理機能として、現場の現状把握とフォローが不十分に見える。センターの人員をもっと地区へ配置して、対応を充実すべしと思う。老人はセンターへは交通を含めて行けない。地区のふれあいセンターでの機能を充実してほしい。
1.機能	男	70	保健センター自体の役割を認識していないが、今回の新型コロナのような流行病対応の市としての拠点となるべき機関なり部署が設定されていれば無くても良いと思う。

問6 今後の保健センターのあり方について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
1.機能	男	50	総合福祉会館含め、施設の統合ができると良いと思います。 保健センターを現在の総合福祉会館の跡地に福祉会館と統合したコンパクトな施設を建設し、保健センター跡地は混雑すること多い駐車場の増設にすると良いと思います。
1.機能	男	60	今やハコモノにお金をかける時代でもなく、必要最小限の機能に縮小すべき。むしろ各種イベント開催やその告知などソフト面を充実させて欲しい。
2.広報	女	70	宇部はび、母子事業、保健センターなど業務の中が見えにくい。
2.広報	男	70	保健センターの役割は、特定健診等の受診、管理等の事務業務以外何をしておられる分かりません。休日診療業務は保健センターに含まれていないみたいですね。上に書いている程度のことしか知りませんので、保健センターの役割を市民に啓蒙すべきだと思います。 コロナ感染への対応及び災害発生時の機能を強化していただきたい。
2.広報	男	80	地区のふれあいセンターなどを使用して、もっと保健センターのPRを
2.広報	女	80	保健センターの利用について、誰でも気軽に相談できる様に、センターが実施している内容などをもっと市民に分かるようにしたらと思います。
2.広報	女	10	何を行っている場所か明確にして欲しい。
2.広報	女	40	活用方法の告知拡散を希望します。
2.広報	女	30	保健センターで何が行われているか、どんな役割があるのか理解していない市民が多数あると思うので、もっと活用してもらえるようにどんなことが行われているか広報活動をした方が良くと思う。
2.広報	女	60	保健センターのあり方をもっと市民にアピールし機能を充分活用出来るよう広めてほしい。
2.広報	男	40	保健センターをどのように利用出来るのかがよくわからない。どの様な時に来訪していいのか。
2.広報	女	60	宇部市に住んで30年子どもも2人育て終わりましたが、保健センターには2度しか行ったことがありません。もう少し何の役割がある施設なのか、発信が必要だと思います。
2.広報	男	70	正直に言って保険センターとしての役割を理解できてなくて回答しようがない。だが、市民の健康づくりに尽力されてるとは思いますが今一住民には周知されていないと思います。 各地域に保健師がいらしてるのは時々お見受けしますが、彼らがどんな活動をしてらっしゃるのがは余り理解はしていない。
2.広報	女	60	いろいろな行事やイベント。もっと分かりやすく周知して欲しい。
2.広報	女	30	保健センターが何をやっているかよくわからないので情報の発信をして利用しやすいようにして欲しい
2.広報	女	40	看板が素敵な場所だなくらいで、何をやっている（やれる）場所か全く知らないのので情報発信とかあってもいいかも。
2.広報	女	40	もっと気軽に利用できるような施設にしてほしい。普段あまり利用しない人間には、どこにどんな部屋があってどのような時に利用ができるといった情報が分かり難い。
2.広報	男	70	どの様な位置付けのものかよく理解できずにいます。というのも、職場の健康診断が充実していることです。定年後、完全退職してお世話になると思います。

問6 今後の保健センターのあり方について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
2.広報	女	50	・保健センターと保健所のどちらがどの役割かわからないところもある（周知されていないこともある） ・健診の予約の電話回線を設置して欲しい ・今の保健センターの入り口やその奥の廊下が暗いので、「健康に過ごす為の知識を得る」感じが得にくい。行ったらなんか元気がもらえたと思えるような施設になるといいと思う
2.広報	女	60	昨年まで実施されていた健幸ポイントの手続きで伺ったのが本当に数十年ぶりでした。 敷地内の休日診療は何度か利用したことがあるのですが保健センター自体の機能がよくわかりません。 個人的には箱ものとしての建て替えは不要だと思いますが色々な機能を1か所に集約させた場合その場所の駐車場などの問題は大丈夫なのだろうかという心配もあります。今現在も多世代ふれあいセンターでの行事の場合、車を停めることが困難な場合も多いです。
3.環境整備	女	40	全体的に暗く古い印象。 実際は、声を掛けると親切に対応してくださるが、玄関から近づきたい雰囲気は漂い、凄く近寄りがたいので、家族のちょっとした健康相談など、到底辛い。もっと身近に相談出来る様、曜日等決めて対応して欲しいし、場所も明るくわかり易くして欲しい。
3.環境整備	女	50	立地場所としては、市の中心部にあり、利用しやすく感じるが、入口を入った時に（時間を問わず）とても暗い感じがして、いろんな掲示物があるものの、良い雰囲気ではないのが残念。
3.環境整備	女	70	現保健センターは手狭で、多くの人が集まれない。多世代ふれあいセンターも駐車場の利用者も多く、利用しにくい。
3.環境整備	女	50	入り口の段差を無くし、2階へのエレベーターで車いすなどでもスムーズに移動できるように
3.環境整備	女	30	万倉地区なので遠い、近くだと助かる。
3.環境整備	男	70	☆ 以前、健康講習会等に利用した際に建物の古さに驚きました。市民の拠点として他の公共関係先との機能性・連携が図られ又場所的に利便性(new市役所周辺)が改善され保健センターの建物・設備の拡充を期待しております。
3.環境整備	女	40	一箇所しかないので行きづらい。混む
3.環境整備	男	40	旧楠町の住民としては遠いのであまり利用したくない。 機能は縮小して北部総合支所周辺に同様の機能を準備して欲しい。
3.環境整備	男	40	室内が少し暗い
3.環境整備	女	30	施設が古いので、新しく建て直すことも検討してもらいたい
4.イベント	女	50	あまり縁がありません。もっとイベントとかあればいいのでは。
4.イベント	女	70	はつらつ健康ポイントがなくなって毎日の歩数の励みとなるものがなく非常に残念。何か健康増進になるものをやって欲しい。
4.イベント	男	40	市民が集まりやすい催しをして欲しい

問6 今後の保健センターのあり方について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
4.イベント	女	40	共働きをしており、平日フルタイムで働いているので、平日の日中に講義や運動イベントがあると、「土日にやってくれないかなあ」と思っていました。働いている者にとって、どうしても運動不足になり気味なので、土日に体を動かす講座やコースが定期的にあると利用するだろうな、と思います。 以前、市で健康プログラムを実施されたと思いますが、その労働者版(平日夜間、土日)があると参加したいな、と思います。参加費も手頃な価格にしていきたいです。
5.その他	男	70	定期健康診断受診率100%を実現する促進センターであって欲しい。どんな疾病も早期発見が大切だと思います。医療費削減は財政上、喫緊の課題。長野県の政策が参考になるかも。
5.その他	男	80	センター職員は良く頑張っていますが、忖度の無い様に注意して活動してください。認知症予防や健康づくりは、よく出前講座をしていただいております。ありがとうございます。
5.その他	男	80	保健センターというと、中におられる方は、大半が女性で入りにくいし、利用する機会はゼロみたいですし、これから何をやられるのか？
5.その他	男	70	高齢化、夫婦共働きで保健センターへ出向くのが難しくなるので、各地区に出向いて活動する方法になると思う。
5.その他	男	80	センターのあり方ではないが、市はつらつ健康ポイント事業終了（市で実施してほしかった。）
5.その他	女	60	もう少し気軽に利用出来るようにしてもらえたらいいかと思う。（必要な時にしかセンターへ行かないことが多い）
5.その他	女	40	利用しやすいもの
5.その他	男	70	目立たない存在ですが、大事なことを扱っているので引き続きがんばって。
5.その他	女	60	今のところ ほとんど利用しないので、意見はありません。 利用される方に便利のように、皆さんが寄りやすいように変わっていくことには賛成です。
5.その他	男	20	古いところが気になります。
5.その他	女	40	休日診療所が混みあってる時は保健センターでも診察、処置が出来るように分散させるなど対応して頂きたい。
5.その他	男	70	健康増進の企画・・・万歩計は他の自治体に誇れる事業だった
5.その他	男	50	きちんと整備していけば、建て替えないで済むのではないのでしょうか？
5.その他	男	70	利用したことが無いので、意見が出しにくいですが・・・ 何故利用しないかと考えると 1) もっと容易に相談や対応してくれる窓口、 2) 便利な窓口 例えば「セカンドオピニオン」定期的に糖尿病。高血圧・高脂血で病院に通院して血液検査を受けているが数年間薬の変化もなく、症状の変化も少ない。担当する医者が変われば、診断も従来と変わる可能性があるのでは？主治医を変え、異なる医者視点での診断も希望する。 などの機能が有れば・・・ 3) 健康促進、防災備品など真に役立つ商品の実際経験した人の意見も含めた展示 高価な機能性食品は、医薬品に比べて明確な治療効果が期待できないことをもっと知らせるべきである。 精神的なプラシーボ効果を期待させるだけでなく・・・
5.その他	男	70	保健に関する展示場あればいい。
5.その他	男	70	高齢化が進んですいすい是非このまま頑張ってください。
5.その他	女	50	利用することが無いのでほとんど気にしたことがありませんでした。

問8 福祉の拠点について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
1.広報	男	70	健康面や介護等が気軽に相談出来る態勢と広報活動をして欲しい。
1.広報	女	40	多世代交流センターの充実と跡地の活用を市民に告知する事を希望します。
1.広報	女	50	妊娠期の生まれる前から高齢者の介護までずっと生きている限り福祉にお世話になりその中で互いに助け合って生きているのに『福祉』に対する啓発活動等が宇部市は足りないと思う。様々な活動を行っていても知らないことが多い。もっともっと情報発信して欲しい。困った時にどこに行けばいいのか？誰に相談すればいいのか？子どもだって相談したい！福祉は、何時～何時でなく緊急の相談の場合は24時間365日いつでも相談できる場でもあって欲しい。（働き方改革・人材不足で難しいのは承知）
1.広報	女	40	手間・コストはかかるが、情報発信の方法を年齢・年代に合わせて変えていったほうが良いと思う。
1.広報	男	70	福祉の窓口をもっと簡素化できないでしょうか。 何処（宇部市、社協）に、行って相談すれば良いのか分かりにくい。
1.広報	男	70	どの様な機能があるのかが、周知されてない様に思います。
2.機能	女	70	誰でも自由に利用できるオープンカフェ（軽食メニュー含む）施設があると良い。（高齢者や障害者や一般の人も混じって、周囲を気にせず談笑できるスペース）
2.機能	男	60	青少年会館が無くなり、文化会館補修中、来年には福祉会館が無くなる予定。 したがって、会議等をする場所、福祉団体・ボランティア団体の代替活動拠点が欲しい。
2.機能	女	80	福祉施設と保健センターとは、重複するものが多数有る様に思います。1ヶ所に集合させてはと思います。
2.機能	女	50	福祉会館のような機能を希望
2.機能	女	60	高齢者の割合が大きくなっていくので高齢者が生活し易い宇部市であってほしい。孤立しない為に憩いの場が充実したらよいと思います。
2.機能	女	40	福祉会館が取り壊しになるんですか？ 福祉会館食堂部には大変お世話になり美味しい食事を頂きました。いつもお客さんが多くて賑わっていましたね。食堂部は残して欲しいですね

問8 福祉の拠点について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
2.機能	男	60	どの施設でも、一つの役割ではなく、一つの施設で多目的に使用できる施設を創る方が活用しやすく、税金の有効活用に繋がると考えます！
2.機能	女	40	せっかくの施設があるなら、無駄にならないよう多目的に有効に使うべきです。
2.機能	男	60	ご存じのように、「福祉」というものはとても幅広い。今後、現在では考慮されていない問題も多数生じると思う。数十年前、現在の福祉で問題にされていることを指摘していた人・団体はどれほどいただろうかと考えると、現在の状況に合わせたスペースでは足りなくなるのは必然だと思います。つまり、多世代ふれあいセンターにまとめるといっても、すぐに手狭になるのでは。 青少年会館もなくなったし、そこで機能していたことはどうするのか？と考えれば、多世代ふれあいセンターのみではなく、福祉会館も建て替え、福祉関係の活動が一層充実できるようにするべきではないかと考えている。 「宇部市第5次総合計画 前期実行計画」を読んで、なお更そのことは強く言えると思った。
2.機能	男	70	多世代ふれあいセンターへ統合移転することによる機能低下が生じないように、十分な配慮をお願いしたい
2.機能	男	60	福祉に関しての全般的な相談・援助のサポートを提供できる体制にしてほしい。
2.機能	女	60	市民がより身近な場所で包括的な相談・支援を受けられる場所と体制は必要だと思います。
2.機能	女	50	福祉ボランティア団体の活動できる場所をお願いします。
2.機能	女	50	困った時はまず相談でき、必要な手続きや支援に繋いで下さる場所があるととても助かりますし、安心に繋がります。災害時も一般避難所には行けない最重度自閉症のような人達の受け皿になってくれたら助かります。
2.機能	女	40	多世代ふれあいセンターの建物設備がすでに新しく立派なので、古い総合福祉会館の改築増築部分程度の捉え方をしていて、別個の認識はありませんでした。社協さんが入る場所は市街地に必要でしょうが、講演会研修会、ワクチン接種会場としか利用経験がありません。多世代ふれあいセンターでも、それらの機能は、工夫で十分に果たせるのではないのでしょうか。
2.機能	男	70	介護関係の施設が、これから必要と思います。

問8 福祉の拠点について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
2.機能	女	60	老人が気軽に相談しやすい環境を整える事が大切なのかもかもしれませんが、人と関わるのが苦手な人、身体、精神障害などある人は孤立しているのではないかと心配になる事もあります。近所に気軽に話せる場所があれば老人も集まりやすく情報交換できるのかなあ？自分も独居老人になる予定なので不安しかありません
2.機能	男	80	高齢者や障がい者など広域連携する施設設備の総合センターとして新設を検討すべきと思料します。
2.機能	男	70	福祉のお世話になるのに相談の窓口が必要です。強化を希望する。
2.機能	女	40	高齢者、障がい者、児童など、それぞれの専門家に常時対応してもらえると安心。 ワンストップで諸手続きができるの良いと思う
2.機能	女	40	勉強できる場所がほしい
2.機能	男	70	進む高齢化社会にあって、地域包括センターが窓口になっている現在、福祉の拠点たりうる存在であるのか疑問。
2.機能	男	70	福祉の範囲が広いので相談が多いと思う。ワンストップの拠点であってほしい。
2.機能	女	50	福祉の拠点には求められる機能はたくさんあり、問7で3つは選びきれなかった。時代の変化とともに必要なものは変わり、災害もあるので、その時その時に臨機応変に対応できる権限のようなものが、独立してあるとよいと思う。福祉に携わる事業者やボランティアの研修は継続的にしてほしい。
3.利用方法	男	70	相談窓口としての対応 福祉団体、ボランティア団体への助言、指導
3.利用方法	男	80	色々な趣味に関して活動できるような施設にしてほしい。
3.利用方法	女	70	窓口が分かりにくく、ワンストップサービスが出来れば助かると思います。
3.利用方法	女	40	ボランティア活動を無料利用したい
3.利用方法	男	40	場の解放
3.利用方法	男	70	福祉施設は基本的に福祉を受ける人の場所が優先すると思う。「拠点」はより高い質の福祉の提供の研修や実習の場として活用できれば良いのでは？
3.利用方法	男	70	これから高齢化が進み、大きな拠点を作っても必要を感じて利用する人がどの位いるのかわからない。 拠点に出かける交通機関も不便であり、必要性は感じない
3.利用方法	女	50	今まで福祉会館を無料で借りれていたサークルや活動団体が今後、市の建物のどこを借りても無料にして欲しい

問8 福祉の拠点について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
4.施設等	男	70	総合福祉会館が令和7年3月末で廃止と聞き、非常に残念です。（建替えの予定がないと聞く） 私達高齢者は、週1回食堂で友達と会食し、その後ホールで会話して帰るのが楽しみの1つで生きがいですので、ぜひとも建替えして継続してもらいたい。
4.施設等	男	70	福祉の拠点としての役割の充実した福祉会館は、他の場所へ移転が望ましい。
4.施設等	男	70	総合福祉会館は、独立してビルを保有し福祉全般に渡り運用すべき団体だと思っております。老朽化が原因であれば資金の確保(市民からの募金や国からの支援など)を行い独立してビルにすべきだと思っています。
4.施設等	男	50	井筒屋跡地や第二市庁舎にも分散してもいいのではと思います。
5.駐車場	男	80	保健センターも福祉会館も北部から行っても、いつも困るのは駐車場。しっかりスペースをとってもらいたい。イライラする。
5.駐車場	男	70	私は北部地区ですが、拠点については、市中心部でよいと思う。駐車スペース確保も課題と思う。
5.駐車場	女	60	わかりやすい場所にあるといいと思います。 駐車場等 広場のように広いスペースがあると災害やイベント等利用できると思うので、敷地が広いといいです。
5.駐車場	男	60	一般的に、総合福祉会館と多世代ふれあいセンターの違いが分かりづらい。また、駐車場が使いづらい。総合的に職員のレベルアップをお願いします。
5.駐車場	女	60	今はだれもが車で会場(会館・施設)に来る時代ですので、駐車場は十分な数を用意してほしいです。何かイベントが重なるときには駐車できないこともしばしばでした。また、駐車場として使うのなら、やはり舗装と白線表示はしてほしい。 保育園跡地の第二駐車場は見えにくいロープで区切りがしてあったり、雨が降ると大きな水たまりができ、なるべく使いたくないところです。
5.駐車場	男	70	総合福祉会館を各種会議イベント開催などに多く利用させて頂きました。主に利用される高齢者、障がい者の方たちが安心・安全に配慮して欲しいと思います。 現在の多世代ふれあいセンターは趣味、運動される方たちの利用も多く、現駐車場スペースの整備(区画線・整地)のご検討も併せてお願い致します。

問8 福祉の拠点について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
5.駐車場	女	50	要約筆記や手話を習う時に利用しました。 駐車場が狭いのが不便ですね。 食堂は今でも食べに行くので残ると良いですね。
5.駐車場	男	40	駐車場の整備
6.交通	男	80	拠点としては今の場所で街の中心に有るから良いと思いますが、バス等が停車出来る場所であって欲しいかなと思う。
6.交通	男	70	遠隔地に居住する者には利用しづらい面がありますし、今後高齢化が進むと更にこの傾向が強まると思います。福祉に関する相談等は可能な限り各市民センターなどに出向いて受けられる体制の整備を望みます。
6.交通	女	70	・ 運転免許を返還する年齢になり、バスや電車、自転車等で会場まで行くのが面倒になる（高齢者） ・ 校区のふれあいセンターを利用しての展開があれば、利用しやすい。 ・ 現在、健康相談が毎月あり、利用者がある。
6.交通	女	30	万倉地区なのでなかなか利用できない。
6.交通	男	70	総合福祉会館がなくなるのは大問題。隣接の多世代交流センターとは役割が異なる。交通の便利な所に再建をのぞむ。福祉政策は住みやすさを示す重要なポイント。人口減少の要因の一部かも。
6.交通	男	40	多世代ふれあいセンターに移転しても旧楠町からでは車で40～50分程度はかかり、なかなか利用する気がしない。 車を運転できない者にとっては他の交通手段はあまりにも不便で更にアクセスは難しい。 基本的には北部総合支所周辺に同じ機能を持たせて配置して欲しい。
7.その他	男	70	社会の変化を見据えた活動の拠点を目指すには、（目指す社会）の3項目をもっと具現化した目標にしないと具体的方策が見えてこない。そのためには、従来の考えを含めて現状の問題点を追及してはと思う。
7.その他	男	80	誰もが生きがいを持って元気に暮らせる社会
7.その他	女	60	車いす利用者への考慮 段差のない街づくり
7.その他	女	70	誰かの役に立ちたいと思っても一歩が出ない方が一歩が出る 市民の活動拠点

問8 福祉の拠点について、ご意見があれば記入してください。

分類	性別	年代	内容
7.その他	男	40	高齢者がいる家族向けの研修会や、障害児、後天性の障害者がいる家族向けの研修会、勉強会をして欲しい。宇部市にはどのような福祉サービスがあって、どのような将来があるのか分からず漠然とした不安がある家庭は多いと思う。
7.その他	女	70	市役所近くに集めた方が良いです。
7.その他	男	70	めだたないが大切な機能があるのでがんばってほしい。
7.その他	男	60	現在の福祉会館が担ってきた役割をどの既存の施設に移すのだろうかという疑問がある。
7.その他	男	20	老朽化が気になります。
7.その他	男	70	福祉も対応の幅が広く、特にこれから先は何かと福祉の充実を求められる時代になると考えられる。
7.その他	男	50	誰が取りまとめて行くのかはっきりさせないとダメだと思います
7.その他	女	40	とつつきやすさ
7.その他	女	50	まだお世話になった事がないので分かりません。